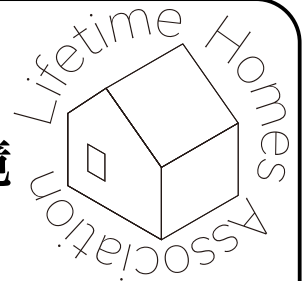


第6回 社会資本としての住環境研究会

住み続けられる地域をつくる／考える 2

重度障害者が地域に暮らし続けるための住環境 ～グループホームを中心に～



■日時 **2020年 12月5日 (土) 14:00～15:30** (13:50入室開始)

■会場 **Zoomによるオンラインセミナー**

お申込後、ミーティングIDをメールでお送りいたします
参加費無料

■レクチャー

松田雄二 (東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授)

■ディスカッション

松田雄二 + 丹羽太一 (東京大学REDDY、一般社団法人LIFETIME HOMES ASSOCIATION)

主催:一般社団法人 LIFETIME HOMES ASSOCIATION

■趣旨

地域の医療、福祉、生活支援の提供は、誰もが地域で住み続けられるために必要です。それらのサービスを利用する人それぞれの住まい方に応じて提供されることが重要になってきます。介護や看護のサービスが必要なとき、今ある生活の延長上で住まい方を考えていく上で、それぞれの住まいがそのための備えをしていなければ、様々な困難が生じることになりかねません。さらに今いる地域の中で暮らし続けるためには、その地域のサービスを充分利用でき、さらにはその地域の人と交流し、その地域で活動できることが重要であり、そのためにその人の住まい方にあった地域コミュニティが整備されていることが欠かせません。生活が地域とつながり続けるためには、住宅や建築、地域のデザイン、そして制度システムや地域ネットワークには何が必要なのでしょう。

これまで研究会では、社会的共通資本としての「制度資本」である地域包括ケアシステムに必要な「社会的インフラストラクチャー」としての住宅のあり方としてライフタイム・ホームズという設計基準を紹介してきました。さらに地域で暮らすためのアクセシビリティを整備するライフタイム・ネイバーフッズについて考えてきました。

ではこれらをどのようにデザインするのが良いか、住み続けられる地域をつくる様々な試みの事例を通して考えていきたいとおもいます。今回は重度の障害のある人々が地域で生活するためのグループホームについて、講師を招いてお話を伺います。

■プログラム

14:00～ 開催挨拶

14:05～ レクチャー

「重度障害者が地域に暮らし続けるための住環境 ～グループホームを中心に～」 松田雄二

15:05～ ディスカッション・質疑応答

15:30 閉会

■申込み (締め切り 12月1日(月))

- ・参加費 無料
- ・定員:30名
- ・情報保障(字幕):字幕表示について対応検討中
- ・参加お申込みを以下のフォームよりお願いします

<https://basstronauts.sakura.ne.jp/ssl/lifetimehomes/register.html>

- ・E-mail でのお申込:件名「第6回 社会資本としての住環境研究会」とし、お名前・ご所属・ご連絡先メールアドレス・情報保障などのご希望を明記の上、以下お問い合わせ先アドレスまでお送りください。

■お問合せ:contact@lifetimehomes.jp